

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE
ROAD

2025年
夏号
vol.45

INDEX

- ◆ 令和7年度 事業計画の概要
- ◆ 第21回名古屋市障害者スポーツ大会
- ◆ スポーティブ・ライフin瑞穂
- ◆ 名古屋市障害者スポーツフォーラム
- ◆ パラスポーツフェスティバル2025
- ◆ 募集・事業所案内

事業団公式マスコットキャラクター
りはみん



発行：季刊オレンジロード編集委員会

名古屋市障害者スポーツ イベント特集



令和7年度 事業計画の概要

令和7年度の事業計画が、3月24日に開催された理事会にて決定されました。

令和6年度は、令和7年度からの病院部門における名古屋市立大学への移管に向けた準備として、センター内の各所において多数の工事が一年を通して施工されました。また、職員の移籍に係る対応や組織改編に向けた運用の検討、各種規程・要綱の改正など、これまでに経験したことのない目まぐるしい一年でした。令和7年度は、新しい組織体制でのスタートを切ることになりますが、引き続き、名古屋市の障害福祉計画における役割を担うべく事業運営を行うとともに、その中でも特にこの地域の中核的役割を担っている高次脳機能障害や視覚障害への支援事業については、さらなる拡充を図っていきます。また、バリアフリー整備等の相談支援に関する新規事業の

実施を見据えて、新たな部署を設置し準備を進めていきます。

一方、令和7年度は、令和10年3月まで3年間延長された総合リハビリテーションセンターの指定管理期間延長の1年目で、総合リハビリテーションセンターのあり方を検討していく重要な時期になります。まずは、市大病院化後においても医療と福祉の切れ目のない支援を継続するため、確実な引き継ぎと連携体制の構築が必要です。そのうえで、福祉部門では、公的な施設としての存在意義をアピールしていけるよう、これまでの取り組みや積み上げてきた実績を活かし、事業の拡充や新たな事業をスムーズに展開していけるよう進めてまいります。

以上を踏まえ、令和7年度の事業展開にあたっては、次の事項を重点事項として取り組みます。

1 新たな組織体制下における円滑な運営のための取り組み

新たな組織体制においても、総合リハビリテーションセンターを利用される方が、その方にとって必要な支援・サービスを機を逃すことなく、かつ、シームレスに受けられるよう、各部門の連携を強化していくとともに、名古屋市立大学に移

管された医療との連携体制等についても、名古屋市および名古屋市立大学と密に調整を行っていきます。

また、規程に基づき要綱等の整備を行い、事業がスムーズに展開できるようにします。

2 福祉部門のあり方検討

名古屋市健康福祉局健康福祉部障害企画課における福祉部門のあり方検討についての懇談会が開催される中で、事業団としても名古屋市の障害福祉計画における総合リハ

ビリテーションセンターの役割を確実に担いつつ、名古屋市の障害福祉の水準の向上に資することができるよう今後の方向性について検討していきます。

3 経営戦略計画（最終年度）の推進と次期経営戦略計画の策定

令和7年度は、第5次経営戦略計画（令和5年度から令和7年度まで）の最終年度にあたります。令和6年度は工事等により事業運営に大きな影響が出ましたが、新たな体制の下で見

直した経営戦略計画に基づき、着実に目標を達成できるよう計画の推進に努めます。また、福祉部門のあり方検討での議論を踏まえ、市と協議のうえ、次期経営戦略計画の策定を行います。

4 高次脳機能障害の支援事業の拡充

新たに高次脳機能障害の支援において長年の経験を有する医師をアドバイザーとして迎え、医療機関や各種支援

機関などとのネットワークの構築および家族会への支援の強化を図るなど、“地域連携の柱”となれるよう努めます。

5 視覚障害者支援事業の拡充

視覚障害者への支援事業について、以前から要望のあった、就労中の方や送迎の関係で平日の通所が難しい利用者

への対応ができるよう土曜日の訓練を開始します。また、夜間帯の訓練や相談を希望する方への対応を強化します。

6 バリアフリー整備等の相談支援に関する事業に向けた準備

令和6年度に、バリアフリー整備相談支援事業の検討調査業務を受託し、全国で先行実施されているさまざまな自治体での取り組み等の調査を行ったことで、多くの情報や知識を蓄積してきています。令和7年度は、その調査業務に

おける経験も踏まえて、バリアフリー整備等の相談支援に関する新規事業の実施を見据えた「福祉環境まちづくり支援課」を新たに設置し準備を進めます。

7 人材確保と人材育成

事業団が質の高いサービスを提供し続けるためには、人材の確保と次世代の育成が必要です。

学生数が減少し人材確保が困難化している中で、より良い人材を確保できるよう、部門間で連携して戦略的・計画的な広報に努めるとともに、就職説明会、職場見学や1日体験の充実を図り、就職・転職フェアへの参加、的を絞った広報な

ど、採用広報に力をいれていきます。

人材育成については、新体制のもと職員の意識調査を実施し、新たな人材育成指針を作成します。職員一人ひとりが向上心と意欲をもって業務を遂行できるような取り組みを実施することで成長を促進し、組織力を強化していきます。

8 地域への支援・ネットワークづくりの強化

名古屋市の障害福祉における中核的な役割の一つとして、地域の支援力の向上に貢献できるよう、支援者向けの講習会・研修会の開催や、外部からの講師派遣等の依頼に積極的に協力していきます。

また、他機関との連携を強化するとともに、高次脳機能障害、視覚障害、就労支援、相談支援等の分野における地域のネットワークづくりに尽力します。

9 広報

事業団においては、これまでもウェブサイトや広報誌、X、Instagram、YouTubeなどのSNSを活用し、広報活動に力を入れてきました。令和7年度も情報発信を通し、新たな体制となった事業団の専門性や取り組みを分かりやすく周

知し、総合リハビリテーションセンターなどの利用に際しての情報提供、関係機関との連携や支援技術の普及啓発を目指します。



名古屋市障害者スポーツイベント特集



名古屋市障害者スポーツ大会

ボウリングの部

令和6年11月10日(日)に緑区の「名古屋グランドボウル」で「第21回名古屋市障害者スポーツ大会(ボウリングの部)」を開催しました。

大会当日は77名の参加があり、男女、年齢別(少年・青年・壮年)に各組で分かれ、各組内で順位を競い合いました。

この大会は令和7年度、滋賀県で開催される全国障害者スポーツ大会の選考会も兼ねており、会場は勝負の空気に包まれながらも、同じレーンの参加者のストライクを皆で喜んだり、楽しい雰囲気もあり、参加された皆さまのいろいろな表情を見ることができました。



卓球の部

令和6年11月17日(日)に名古屋市障害者スポーツセンターにて「第21回名古屋市障害者スポーツ大会(卓球の部)」を開催しました。一般卓球とサウンドテーブルテニス合わせて76名の選手が参加しました。

選手の皆さまは真剣な表情で試合に取り組み、日ごろの練習の成果を発揮し、一生懸命勝利を目指した試合はどの試合も白熱した見ごたえのある内容でした。

この大会は令和7年度、滋賀県で開催される全国障害者スポーツ大会の選考会も兼ねており、全国大会の出場を目指す選手はもちろん、卓球を始めたばかりの選手も一生懸命ボールを追う姿を披露してくれました。



バレーボールの部

令和6年11月21日(木)に名古屋市障害者スポーツセンターにて「第21回名古屋市障害者スポーツ大会(バレーボールの部)」が開催されました。

3チーム、26名の選手が出場されました。各チームとも技術はもとよりチームワークも年々向上し、ゲーム中に声をかけあい、ミスをしてもしなう姿が多く見られました。声をかけあうようになったことで、ラリーも続くようになり、見ごたえのある白熱した試合ばかりでした。

この大会は全国障害者スポーツ大会の選考会でもあり、北信越・東海ブロック予選会への出場権がかかっていました。本大会を優勝し、見事出場権を得た「名古屋サーティーン」が北信越・東海ブロック予選会をも勝ち抜き、令和7年度、滋賀で行われる全国障害者スポーツ大会への切符を手にする姿を見られたらと思います。



結果

優勝

名古屋サーティーン

準優勝

なごや鯨クラブ

3位

エンジョイ・クスノキ

名古屋市障害者スポーツイベント特集

スポーティブ・ライフ in 瑞穂（パロマ瑞穂北陸上競技場）

スポーティブ・ライフ in 瑞穂はスポーツをはじめるきっかけづくりを目的とした、スポーティブ・ライフ月間（10/1～11/30）のエンディングイベントとして、毎年11月23日にパロマ瑞穂スポーツパークで開催されています。だれもが楽しめるさまざまなスポーツイベントが催される中で障害者スポーツ体験のブースを出展しました。当日は天気にも恵まれ、大変多くの皆さまに車いすバスケットボールを体験してもらうことができました。

親子や兄弟、友だちと笑顔で楽しく体験しながら、パラアスリートのすごさ等を感じてもらえたと思います。

主催 スポーティブ・ライフin瑞穂

会場 パロマ瑞穂北陸上競技場

日時 令和6年11月23日（土・祝）

体験者 113名

13時30分～15時00分



令和6年度 名古屋市障害者 スポーツフォーラムの開催

2026年に開催される第5回アジアパラ競技大会（2026／愛知・名古屋）を契機にパラスポーツをより一層推進するために、広く市民に向けて、大会の機運醸成とボランティアへの興味・関心を高めることを目的とするフォーラムを名古屋市と共催しました。

第1部では「東京2020パラリンピック」で銅メダルを獲得した陸上競技男子 大島健吾選手に今後の目標などを語っていただきました。

第2部の大島健吾選手と元バドミントン女子日本

代表の小椋久美子氏とのスペシャル対談では、国際大会に出場した際、国によって盛り上げ方が異なり、選手のモチベーションに大きな影響を与えたことなどを語っていただきました。

第3部のパネルディスカッションでは、2026大会のレガシーとして期待することについて、市アジアパラ競技大会推進課の倉知正行氏も出席し、大会準備状況などを交えて議論していただきました。



パラスポーツ フェスティバル2025

パラスポーツについて広く市民への理解促進・普及啓発を図ることを目的に、たくさんの方が集まるショッピングモールにてパラスポーツフェスティバル2025を開催しました。今回は、大人気ウルトラヒーローにもお越しいただいたおかげで両日とも長蛇の列ができ、大変盛り上がりしました。

年齢や性別、障害の有無に関係なく、2日間で約1300名の皆さまに体験やクイズラリーにご参加いただきました。

日時 令和7年1月25日(土)、26日(日) 両日とも10:00～16:30

会場 イオンモールナゴヤドーム前
1階イベントスペース(セントラルコート、ノースコート、サウスコート)
2階ブリッジ(イング前、アズールバイマウジー前)

内容 ① セントラルコート:ウルトラヒーロー握手会・撮影会／ボッチャ体験／パラスポーツPR動画上映／アジアパラ競技大会PR
② ノースコート:車いすバスケットボール体験
③ サウスコート:サウンドテーブルテニス体験／ブラインドフットボール体験
④ 2階イング前:VRレーサー
⑤ 2階アズールバイマウジー前:競技用義足体験
⑥ 全体:パラスポーツクイズラリー



日時 令和7年2月8日(土) 13:00～16:00

会場 中区役所ホール

第1部 アスリートトークステージ

テーマ パラスポーツの持つ力 ～国際大会に出場して～

出演者 大島健吾選手

第2部 スペシャル対談

テーマ 国際大会を経験したアスリート2人が見たこと、感じたこと

出演者 小椋久美子氏／大島健吾選手

第3部 パネルディスカッション

テーマ 第5回アジアパラ競技大会開催に向けて～2026大会のレガシーとは～

出演者 ファシリテーター 内藤正和氏
小椋久美子氏／大島健吾選手／倉知正行氏

私たちと一緒に
働きませんか

事業団職員 大募集



現在募集中

嘱託職員

嘱託(パート)職員を募集中です。
下記二次元コードで
募集案内をご覧ください。

随時募集中
です!

職場見学
大歓迎

正規職員

詳細は、下記二次元コードをご覧ください。

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団
総務部総務課 採用担当
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

正規職員募集
についてはこちら



嘱託職員募集
についてはこちら



事業団ウェブサイト

<https://www.nagoya-rehab.or.jp>
事業団公式HP▶



事業団公式X(旧Twitter)

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式
➡ @nagoya_rehab

事業所案内

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
- ・福祉スポーツセンター
- ・障害者就労支援センター めいりは
- ・なごや高次脳機能障害支援センター

〒467-8622
名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
電話:052-835-3811 FAX:052-835-3745

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055
名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地
電話:052-703-6633 FAX:052-704-8370

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015
名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1
御器所ステーションビル3F
電話:052-851-0051 FAX:052-851-0056



- ・瑞穂区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0811
名古屋市瑞穂区北原町3丁目2番地 ジュネス瑞穂1階
電話:052-680-7111 FAX:052-680-7626

令和7年1月15日 移転しました

- ・熱田区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター しんおとう

〒456-0018
名古屋市熱田区新尾頭一丁目6番10号
第15フクマルビル1階
電話:052-228-3630 FAX:052-228-3631